

電子顕微鏡(透過型)のサービスメニューを拡充しました



独立行政法人医薬基盤研究所（以下「基盤研」）では、所有する電子顕微鏡（透過型）について、平成21年4月より医薬品開発研究等の促進を図るため、外部の企業等による創薬研究を目的とする測定を受け入れる受託試験を行ってきました。

この度、利用される企業等の皆様のニーズにきめ細かく対応できるようにするため、サービスメニューを拡充しました。ご興味のある方は是非ご相談下さい。

■ 対象機器

透過型電子顕微鏡（1台）日立 H-7650 120kV 平成15年10月 導入

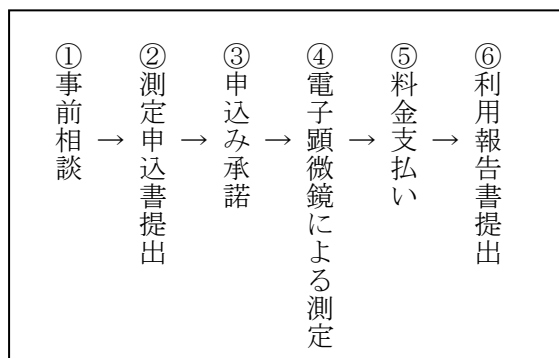
■ 従来との変更点

- 従来は、前処理＋撮影＋解析を一括で「受託試験」として受け入れしていた。今後はサービスメニューを細分化し、「電子染色」「超薄切」等個別のサービス毎に料金を設定して受け入れを可能とした。
 - 電子顕微鏡(透過型)本体やウルトラミクロトームを、企業等が自ら利用することも可能とした。
- ※詳しくは次ページをご参照ください。

■ 利用対象

- バイオベンチャー
- 製薬企業等バイオ関連企業
- 他の研究機関

■ 利用手順



■ 利用料金

次ページに記載

【問い合わせ先】

(独) 医薬基盤研究所 共用機器実験室 今澤、物部

電話：072-641-9888（直通）

e-mail: imazawa@nibio.go.jp

独立行政法人医薬基盤研究所 透過型電子顕微鏡 受託料金設定表

- 所要日数は試料の数によって変わります。5検体でおよそ2～3週間くらいです。
マシンタイムを調整しながらお申込み順に作業をおこなうため、お待ちいただく場合もあります。
- 価格は1検体あたりの料金です。また項目・価格は 予告なく改定する場合がありますのでご了承ください。
- 同一系統の処理をおこなう試料で検体数が多い場合は割引を行いますのでご相談下さい。
- 予備として1検体につき数ブロック作製しますが、観察は1ブロックとなります。
- 基本的に生物試料を対象しております。試料によりお受けできない場合もあります。
- 秘密保持契約も考慮いたしますのでご相談ください。

作業工程

- ① 生物試料を電顕用固定液（グルタルアルデヒド・オスミウム酸）で固定
- ② アルコール上昇系による脱水 → エポキシ樹脂への置換 → 試料を樹脂に包埋 → 熱重合
- ③ ウルトラマイクロームによる準薄切（ガラスナイフ使用）→ 超薄切（ダイヤモンドナイフ使用）
- ④ 電子染色（酢酸ウラン・クエン酸鉛の二重染色）
- ⑤ 透過型電子顕微鏡（日立 H-7650）による観察、CCDカメラによる撮影、Photoshopでの画質調整
- ⑥ 所見

◆外部対象受託試験価格（共同研究をご希望の場合はご相談ください。）

1. 樹脂包埋超薄切片法による解析（デジタル撮影となります。データはPhotoshop画像でお渡しいたします）

項 目		料 金（1検体あたり）
全工程（1～6）を一括でお申込みされる場合		¥60,000
個別料金	1. 固定～樹脂包埋	¥15,000
	2. 準薄切	¥5,000
	3. 超薄切	¥15,000
	4. 電子染色	¥10,000
	5. 観察・撮影（1検体 4枚まで）	¥20,000
	6. 所見	¥15,000

2. ネガティブ染色（デジタル撮影となります。Bitmap画像もしくはPhotoshop画像でお渡しいたします）

項 目	料 金（1検体あたり）
サンプル調製～観察・撮影	¥60,000

3. 透過型電子顕微鏡本体・ウルトラマイクロームのご利用価格

- 機材のみご利用になることも可能です。完全予約制で、お申込み順となります。
- 当方が経験者と判断した方のみご利用いただけます。
- 実験に必要な消耗品（グリッドメッシュ・ダイヤモンドナイフ等）は各自でご用意ください。
- 土日祝はご利用できません。

項 目	料 金
透過型電子顕微鏡本体	¥3,000/1時間
ウルトラマイクローム	¥1,000/1時間